

1. 授業の概要(ねらい)

研究とは、これまで、臨床心理士に求められる4つの業務の一つとして位置づけられてきたものである。現場での実践と独立したものではなく、フィールドでの実践とも深くかかわるものと考えらるべきであろう。また、さまざまな研究アプローチが発展・展開してきており、それぞれにわけて論じられることが多いが、過去の研究を理解する上で、または、自ら研究を遂行していく上で、各アプローチを十分に知り、理解していることは、プラスと作用し、有意義な知識として活かされることが多い。本授業においては、そのような点から、学びを深め、自らの修士論文執筆等にも結び付けていってほしいと考えている。

2. 授業の到達目標

関心のあるテーマについて、複数の先行研究から深く掘り下げて考え、自ら取り組むべき研究テーマとして設定し、その研究目的にふさわしい方法の選択、結果・考察へと自ら研究遂行を試みてほしい。

3. 成績評価の方法および基準

授業内での発表とディスカッションをもとに評価する予定である。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜紹介する

参考文献

適宜紹介する

5. 準備学修の内容

文献の検討会、修士論文の研究内容の発表についてなど、発表に向けてしっかりと準備してのぞむことがもとめられる。

6. その他履修上の注意事項

進行状況にあわせて授業内容・順序は、変更が生じる場合もある。他の人の迷惑になるような行為をおこなわないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 これまで学んできた心理学的な研究と今後の展望について
- 【第3回】 研究の方法論—量的研究,質的研究について学びを深める
- 【第4回】 研究法—面接法,観察法について学びを深める
- 【第5回】 研究法—事例研究法,実験法や,研究倫理について学びを深める
- 【第6回】 修士論文計画と関連論文の発表
- 【第7回】 修士論文計画と関連論文の発表
- 【第8回】 修士論文計画と関連論文の発表
- 【第9回】 修士論文計画と関連論文の発表
- 【第10回】 修士論文計画と関連論文の発表
- 【第11回】 修士論文・関連論文についての発表
- 【第12回】 修士論文・関連論文についての発表
- 【第13回】 修士論文・関連論文についての発表
- 【第14回】 修士論文・関連論文についての発表
- 【第15回】 まとめ